

未収債権の目標及び具体処理策

所 属: 都市計画局建築指導部監察課

1. 債権名(債権区分)

簡易代執行に要した費用	区分: 公債権(強制徴収できない)
-------------	-------------------

2. 未収金残高の推移(目標)

26実績	357 千円	27実績	357 千円		
28目標	357 千円	28実績	357 千円	29目標	357 千円

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	26実績	—	27実績	—	28目標	—	28実績	—	29目標	—
	整理率	26実績	—	27実績	—	28目標	—	28実績	—	29目標	—
過年度	徴収率	26実績	0.0%	27実績	0.0%	28目標	0.0%	28実績	0.0%	29目標	0.0%
	整理率	26実績	0.0%	27実績	0.0%	28目標	0.0%	28実績	0.0%	29目標	0.0%

4. 28年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))	28年度賦課分	合計	1 件	357 千円	1 人
	27年度以前賦課分		1 件	357 千円	

回収債権

	計	0 件	0 千円
①処分したもののうち、換価前のもの		件	千円
②分納誓約・徴収猶予等		件	千円
③交渉中		件	千円

整理債権

	計	1 件	357 千円
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		件	千円
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		件	千円
⑥時効年限を経過したもの		件	千円
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		件	千円
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの		件	千円
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		件	千円
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		1 件	357 千円

5. 28年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度

- A: 目標を達成
- B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)
- B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度(28年度)の取組内容の検証など

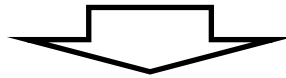
28年度 取組内容	28年度 取組実績
—	—



課題	改善策
—	—

○過年度の取組内容の検証など

28年度 取組内容	28年度 取組実績
不在者財産管理人制度等により、債権を回収する。	不在者財産管理人制度等による債権の回収について、回収見込みなどの検討を行った。



課題	改善策
本未収金は、所有者不明の老朽危険家屋に対する代執行費用の未納金であり、債権を請求する相手方が不明であるため、徴収の見込みは現在のところ無い。 当該物件地は立地条件などに問題があり、財産処分の可能性が極めて低い。	引き続き、不在者財産管理人制度等による債権の回収について、検討を行う。

6. 29年度の取組内容 (5.「28年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

○現年度分 —
○過年度分 不在者財産管理人制度等による債権の回収について、検討を行う。

(参考) 28年度実績及び29年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)